

令和2年度 第1回 教育課程編成委員会 報告

1. 開催日時：令和2年 8月25日(火) 16:00～
2. 開催場所：大阪教育福祉専門学校 会議室
3. 委員：

	氏 名	所 属 等	出 欠
	竹 本 榮	大阪市私立保育園連盟副会長 平野愛和学園長	出席
	宇都宮 彰 治	元大阪市立学校園長	出席
	水戸井 ゆかり	第二善児園園長	出席
	村 田 智 子	勝山愛和香里ヶ丘幼稚園教諭	出席
	福 本 光 美	勝山愛和第二幼稚園教諭	出席
	三 上 教 道	学校長	出席
	吉 本 春 樹	副校長	出席
	三 上 聡 子	学科長	出席
	入 江 実	教授	出席
	日 村 義 正	学務次長	出席
	中 島 仁 志	学務部	出席

4. 議事

(1) 学園長挨拶

・緊急事態宣言発出により、学校も保育の現場も大変苦慮されていることと存じます。本校においては、新教育課程への移行期にあたり、部分的な先取りをいたします。

現場実習に関しては、次代の後継者を育てる意味合いで重要な取組みと考えていますので、現場のご理解とご協力をお願いする次第です。

教育課程の改善に向け、現場の力をお借りすることも多々ありますので、ご意見とご協力をお願いしたい。

(2) 昨年の「教育編成委員会」のまとめ報告

- ・資料に基づき、報告

(3) 新型コロナウイルス感染症に対応した教育課程の変更について

令和2年度の進行状況

- ・実週実施に向けた感染予防対策、健康観察と行動記録について
- ・実習代替演習「教育実習」「保育実習」シラバスについて

【配布資料】

- ・本校の「遠隔(オンライン)授業」実施の経緯と概要)
- ・ZOOMを使用した「双方向遠隔授業」について
- ・「遠隔授業」進め方と課題提出について
- ・実習日程の変更について
- ・実習代替演習の進め方について

(4)令和3・4年度の教育課程概要

- ・令和4年度に向け、3年度に新教育課程の先取りを部分的に実施予定の説明。

【配布資料】

- ・新課程移行対応案

(5)意見交換

- ・現場としても、感染症対策に全力を注いでおられ、職員の意識の向上に努めなければならない。
- ・実情として子どもの感染があるが、保護者からの感染の場合2週間の休園措置を取らせるとともに、園児全員のPCR検査を必要とする例もある。
- ・現場では、保護者との連携を重視するとともに、感染についてのクレームが責任追及とならない方向で理解を求めている。
- ・実習生に対しても、感染を防ぐ立場から、バイト及びバイト後の自由行動に制限を加えることも学校として配慮が必要。

令和2年度 第2回 教育課程編成委員会 報告

◎ 緊急事態宣言の発出により、開催が2ヶ月延期。

1. 開催日時：令和3年 3月4日(木) 16:30～
2. 開催場所：大阪教育福祉専門学校 会議室
3. 委員：

	氏名	所属等	出欠
	竹本 榮	大阪市私立保育園連盟副会長 平野愛和学園長	出席
	宇都宮 彰治	元大阪市立学校園長	出席
	水戸井 ゆかり	第二善児園園長	出席
	村田 智子	勝山愛和香里ヶ丘幼稚園教諭	出席
	福本 光美	勝山愛和第二幼稚園教諭	出席
	三上 教道	学校長	出席
	吉本 春樹	副校長	出席
	三上 聡子	学科長	出席
	入江 実	教授	出席
	日村 義正	学務次長	出席
	中島 仁志	学務部	出席

4. 議事

(1) 学園長挨拶

・緊急事態宣言が再度発出され、幼児教育・保育の現場でも大変なご苦勞をされています。特効薬のない中、予防接種が希望の光となっています。コロナ収束まで、できる限り保育者養成機関として学生の技能の向上に向けて取り組んでいきます。

(2) 令和3年度 教育課程について

・令和2年度の教育課程進行状況を配布資料に基づき説明。

【配布資料】

- ・令和2・3・4年度のカリキュラム・科目の推移(教育保育科第I部・第II部)
- ・令和2年度の行事予定と経過状況一覧
- ・令和2年度実習関係実施予定表と経過状況一覧

(3) 意見交換

・集団で集まる行事が実施できないことにより、学生相互のつながりが薄くなっていると学校として感じている。コロナ対応に十分注意しながらも、行事の実施を工夫し取

り組みたい。

- ・コロナ禍の中で、現場実習が延期・期間縮小そして代替演習となり、学生として現場を体験する機会が減少したのは残念な年であったが、例年の実習とは異なる緊張感を学生にも感じ取ってもらえたと考えている。
- ・現場としては、コロナ対応に関しては保護者の理解と協力が必要と考えている。
- ・今後のコロナ対応も懸念される中、現場に迎える先生方にも丁寧な研修を実施し、現場としての質の向上に努めることが重要である。
- ・新年度に迎える先生を新人扱いするのではなく、保護者の前にあっては新しい先生という形で紹介し、自信を持たせたい。